

地域のリスクを知り，多様な災害に備える

# 火山 防災 シンポジウム

2019年11月24日  13:30 ▷ 16:30

別府ビーコンプラザ 国際会議室

主催 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター

共催 別府大学 気象庁大分地方气象台 アジア航測株式会社

後援 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設 大分県 別府市 由布市 宇佐市 日出町

問合せ先 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター ▷ TEL 097-554-7333 ▷ Mail [cerd-office@oita-u.ac.jp](mailto:cerd-office@oita-u.ac.jp)



**火山防災シンポジウム**  
 日時 2019年11月24日(日) 13:30 ▷ 16:30 (開場 13:00)  
 会場 別府ビーコンプラザ 国際会議室  
 参加申込不要 (先着200席)

地域のリスクを知り、  
 多様な災害に備える

**火山防災シンポジウム**

■開催趣旨

多様化、激甚化する今日の災害。全国的にも自然災害が多発している状況がある。ここ大分県は、地震、津波、土砂災害、洪水、火山など多様な自然災害のリスクを有している地域である。シンポジウム開催地の別府市においては、密集市街地において火災がこれまでも多く発生しており、自然災害だけでなく都市災害のリスクも有している。観光地として全国、世界に名をはせる別府市においては、温泉資源そのものは自然の恵みによるものであることは言うまでもなく、自然と共生する視点はこれからも欠かすことはできない。多様な災害を想定しながら、「被災をした後のまちづくりをどう進めるのか」は今日我々に突きつけられた課題でもある。しかし、「火山」だけの切り口では災害をイメージすることは難しく、日常生活やまちづくり、都市政策と連携をさせながら、「何をすべきか」を考える必要がある。このような観点のもとで、雲仙普賢岳災害から災害を想定した対応のあり方やまちづくりに求められること、さらには地域防災のあり方を考える機会を提供し、共に考えたい。

□基調講演 (13:35 ▷ 14:30)

「雲仙普賢岳火山災害から学ぶ」

三陸ジオパーク推進協議会上席推進員  
 内閣府火山防災エキスパート

杉本 伸一 氏

□学生発表 (14:30 ▷ 15:00)

「地域防災に求められること

～まちのあり方、災害への向き合い方～」

大分大学 別府大学

□ディスカッション (15:10 ▷ 16:30)

▼パネリスト

別府市長

長野 恭紘 氏

三陸ジオパーク推進協議会上席推進員

杉本 伸一 氏

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設長・教授

大沢 信二 氏

▼コーディネーター

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長・教授

小林 祐司



■問合せ先

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター TEL 097-554-7333 Mail cerd-office@oita-u.ac.jp